

福島県への教員派遣研修を実施します ～被災地理解、放射線等に関する教育の推進～

本市では、東日本大震災で被災し避難してきた児童がいじめに遭ったことを重く受け止め、二度とこのようなことが起こらないように、再発防止策を策定し取組を推進しています。その取組の一つとして、平成29年度から福島県へ教員を派遣し研修を実施しています。研修では、被災地の人々の想いや取組から学ぶことを通して、被災を経験した子どもたちに寄り添う心情を醸成するとともに、放射線等に対する正しい理解を深めるための教育について学びます。

1 実施日

令和元年6月28日（金）
※行程表は裏面参考

2 対象者

市立学校教員 79名（予定）
※今後の学校運営の中核的な役割を果たすことが期待される教員
（校長が推薦する主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭）

3 研修先

	施設名	所在地	概要
1号車	福島県富岡町立小・中学校（富岡校）	福島県双葉郡富岡町小浜中央 237-2	全町避難の一部解除に伴い、平成30年4月より富岡町内での小学校・中学校の教育活動を再開。未就学児の預かり保育等、支援体制の充実を図る。
	東京電力廃炉資料館	福島県双葉郡富岡町小浜中央 378	平成30年11月30日開館。福島原子力事故の事実と廃炉事業の現状等を確認できる施設。
2号車	福島県富岡町立小・中学校（三春校）	福島県田村郡三春町熊耳南原 94	原発事故後、全町避難となった富岡町の小学校2校、中学校2校が、平成23年9月、幼稚園と共に、約70km離れた田村郡三春町の工場跡地で学校を再開。
	福島県環境創造センター	福島県田村郡三春町深作 10-2	原発事故により大きな被害を受けた福島県では、県民が将来にわたり安心して生活できる環境の回復・創造に向け、モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流を行うための総合的な拠点として、平成28年に「福島県環境創造センター」を整備。

4 取材について

(1) 申込み

現地での取材を希望される方は、6月27日(木)までにご連絡をお願いします。

(2) 取材の範囲

富岡校および三春校到着から意見交流会まで。

【行程表】 ※交通事情等により時間が前後することがあります。

時刻	内 容	
6:15	横浜花咲ビル 集合	
6:30	(バス往路) 1号車～横浜花咲ビル～首都高速～常盤自動車道～広野 IC 2号車～横浜花咲ビル～首都高速～常盤自動車道～磐越自動車道～船引三春 IC 途中の休憩所：友部 S A	
8:00	【研修1】 教員派遣研修について ※車中にて ・研修の目的等の確認 ・研修によせて(自己紹介)	
	1号車	2号車
10:20	○富岡町立小・中学校(富岡校)到着	○富岡町立小・中学校(三春校)到着
10:45 75分間	【研修2】 学校再開について ・学校概要等について ・校舎内見学、授業参観 ○富岡町文化交流センター「学びの森」へ 移動(12:00発)	【研修2】 震災後の学校について ・学校概要等について ・校舎内見学、授業参観 ○福島県環境創造センターへ移動 (12:00発)
12:15～ 45分間 (休憩)	・昼食(12:15～)	・昼食(12:15～)
13:00～ 85分間 ～14:55	【研修3】 復興に向けて ・東京電力廃炉資料館の見学 ・帰還困難区域及び特定廃棄物埋立処分 施設の状況	【研修3】 福島県の放射線教育について ・福島県の放射線教育について ・施設について ・センター展示等見学
15:10～ 35分間 ～15:45	【研修4】 意見交流会 ・学校の関係者と研修参加者	【研修4】 意見交流会 ・学校の関係者と研修参加者
16:00	(バス復路) 1号車～富岡町文化交流センター「学びの森」～広野 IC～常盤自動車道～首都高速 2号車～福島県環境創造センター～船引三春 IC～磐越自動車道～常盤自動車道～首都高速 途中の休憩所：友部 S A	
20:00	横浜駅前 到着 解散	

お問合せ先

教育委員会事務局教職員育成課長 山本 朝彦 Tel 045-411-0511